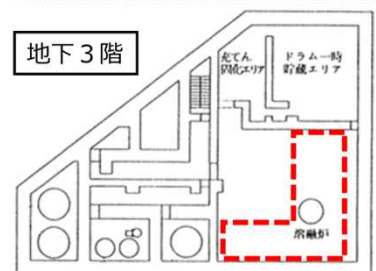
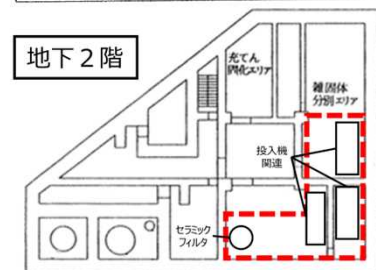
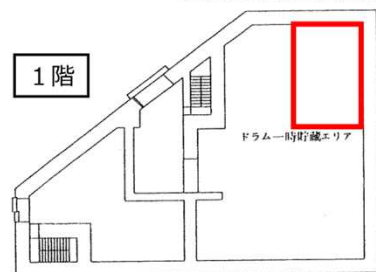


申請の概要及び主な審査内容

< 申請の概要 >

- 既存の雑固体廃棄物処理設備の一部である溶融設備は、制御系設備の製造中止により保守管理が困難となることから、溶融設備を除却し、ベイラ（廃棄物圧縮処理装置）を設置する。

< 設置場所 >



---: 溶融設備除却範囲

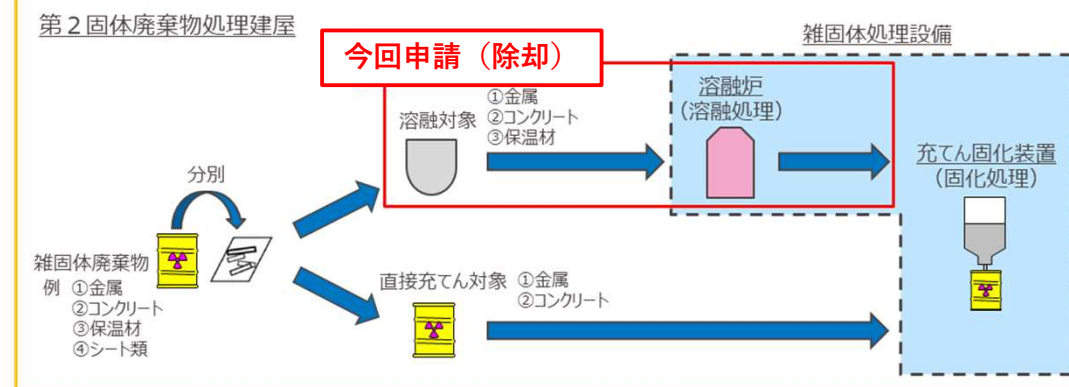
—: ベイラ設置予定場所

既設の第2固体廃棄物処理建屋において、

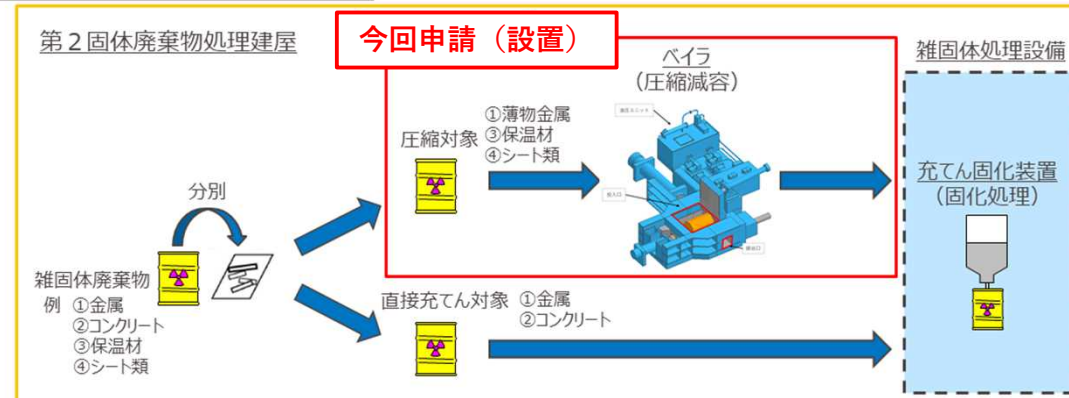
- 地下2階及び地下3階の溶融設備を除却し、1階に貯蔵している一部のドラム缶を溶融設備の除却跡地に移動する。
- 1階のドラム一時貯蔵エリア内にベイラを新設する。

< 固体廃棄物処理の変更点 >

既設置許可



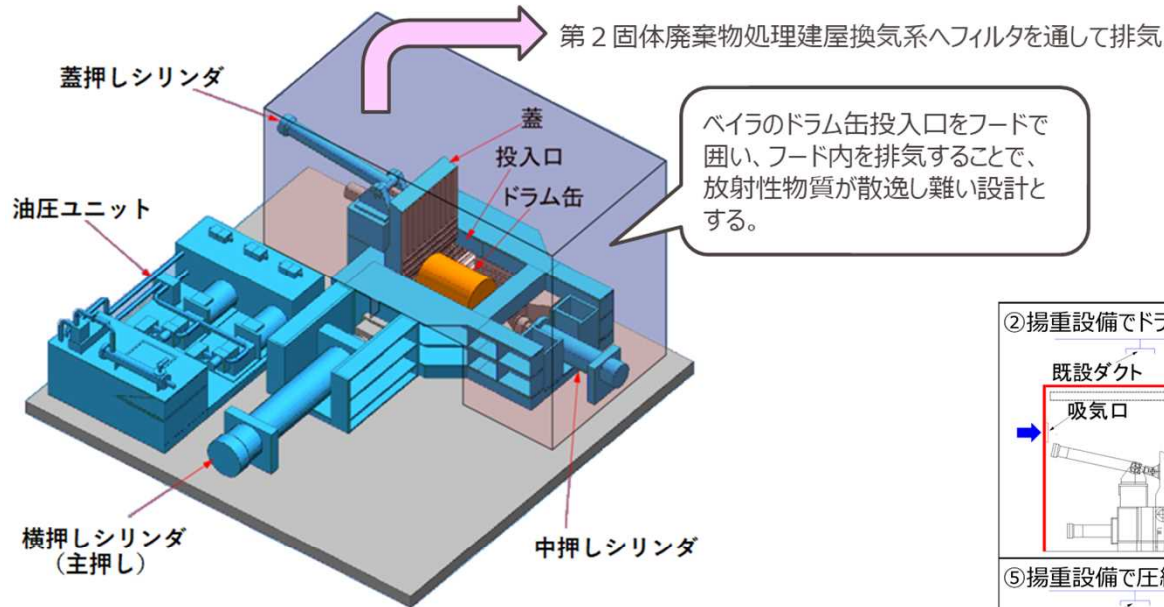
溶融設備除却 及び ベイラ設置後



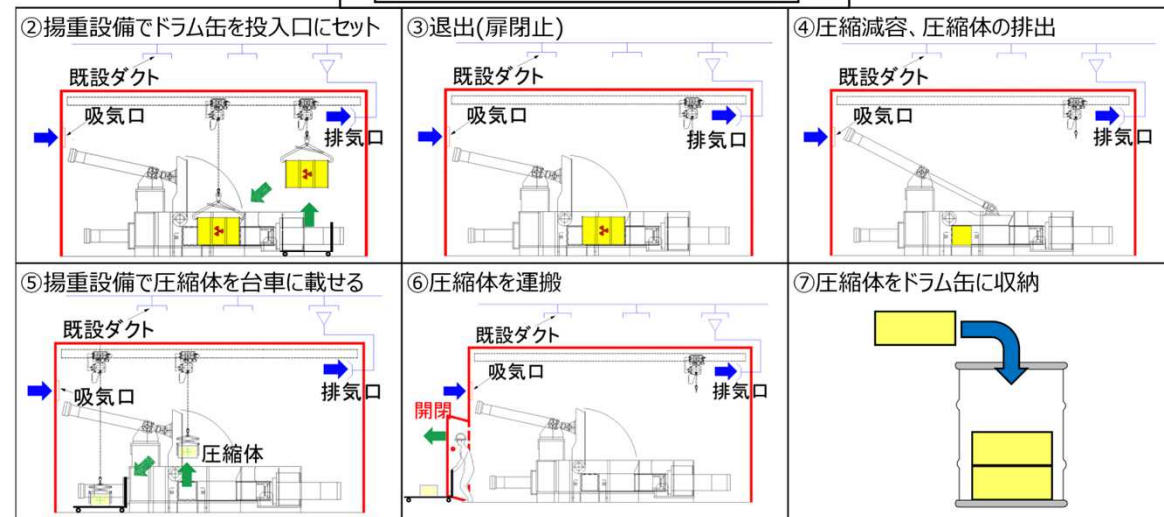
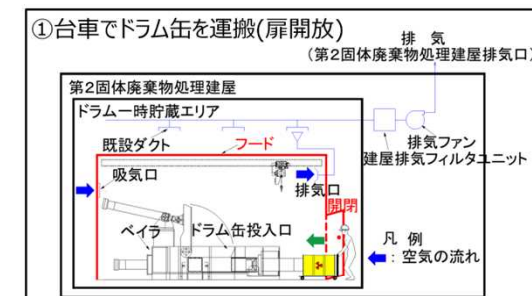
- これまで溶融処理していた雑固体廃棄物を、今後はベイラにより圧縮減容して充てん固化処理を行う。

申請の概要及び主な審査内容

< 主な審査内容 >



(注) フードは基本設計段階のイメージであり、今後の詳細検討により扉の位置等は変更の可能性がある。



● 放射性廃棄物の処理施設（第27条関係）

【申請内容】

- ドラム缶投入口をフードで囲い、第2固体廃棄物処理建屋換気系へフィルタを通して排気することでフード内を負圧に維持し、処理する過程において放射性物質が散逸し難い設計とするとしている。

【確認結果】

- 固体状の放射性廃棄物について、その処理する過程において放射性物質が散逸し難いものとする設計としていることを確認した。

● その他、地震による損傷の防止（第4条関係）、火災による損傷の防止（第8条関係）、安全施設（第12条関係）等に対する申請内容が、各要求事項を満足していることを確認した。